



System Managerによる暗号化の管理

ONTAP 9

NetApp
February 12, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/ontap/task_security_encrypt_stored_data_sw.html on February 12, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

System Managerによる暗号化の管理	1
ソフトウェアベースの暗号化を使用して、ONTAP クラスタに保存されたデータを暗号化します	1
自己暗号化ドライブを使用して ONTAP クラスタに保存されたデータを暗号化します	1

System Managerによる暗号化の管理

ソフトウェアベースの暗号化を使用して、ONTAP クラスタに保存されたデータを暗号化します

ボリューム暗号化を使用して、デバイスの転用、返却、置き忘れ、盗難に際してボリュームのデータが読み取られることがないように保護します。ボリューム暗号化には特別なディスクは必要なく、すべてのHDDおよびSSDで使用できます。

タスク概要

この手順は FAS、AFF、および ASA システムに適用されます。ASA r2 システム (ASA A1K、ASA A90、ASA A70、ASA A50、ASA A30、ASA A20、または ASA C30) をご利用の場合は、"これらの手順"に従ってソフトウェア レベルの暗号化を有効にしてください。ASA r2 システムは、SAN 専用のお客様向けに簡素化された ONTAP エクスペリエンスを提供します。

ボリューム暗号化にはキー管理ツールが必要です。System Managerを使用してオンボード キー マネージャを設定できます。外部キー管理ツールも使用できますが、その場合はONTAP CLIを使用して事前にセットアップしておく必要があります。

キー管理ツールを設定すると、新しいボリュームはデフォルトで暗号化されるようになります。

手順

1. *[クラスタ] > [設定]*をクリックします。
2. *暗号化*で、をクリックして、Onboard Key Managerを初めて設定します。
3. 既存のボリュームを暗号化するには、*[ストレージ] > [ボリューム]*をクリックします。
4. 目的のボリュームで \vdots をクリックし、*編集*をクリックします。
5. *[暗号化を有効にする]*を選択します。

自己暗号化ドライブを使用してONTAP クラスタに保存されたデータを暗号化します

ディスク暗号化を使用して、デバイスの転用、返却、置き忘れ、盗難に際してローカル階層のすべてのデータが読み取られることがないように保護します。ディスク暗号化には特別な自己暗号化HDDまたはSSDが必要です。

タスク概要

この手順は FAS、AFF、および ASA システムに適用されます。ASA r2 システム (ASA A1K、ASA A90、ASA A70、ASA A50、ASA A30、ASA A20、または ASA C30) をご利用の場合は、"これらの手順"に従ってハードウェア レベルの暗号化を有効にしてください。ASA r2 システムは、SAN 専用のお客様向けに簡素化された ONTAP エクスペリエンスを提供します。

ディスク暗号化にはキー管理ツールが必要です。System Managerを使用してオンボード キー マネージャを設定できます。外部キー管理ツールも使用できますが、その場合はONTAP CLIを使用して事前にセットアップしておく必要があります。

ONTAPで自己暗号化ディスクが検出された場合、ローカル階層の作成時にオンボード キー マネージャを設定するためのプロンプトが表示されます。

手順

1. *暗号化*で、をクリックしてオンボード キー マネージャーを設定します。
2. ディスクのキーを再設定する必要があるというメッセージが表示された場合は、をクリックし、*ディスクのキー再設定*をクリックします。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。